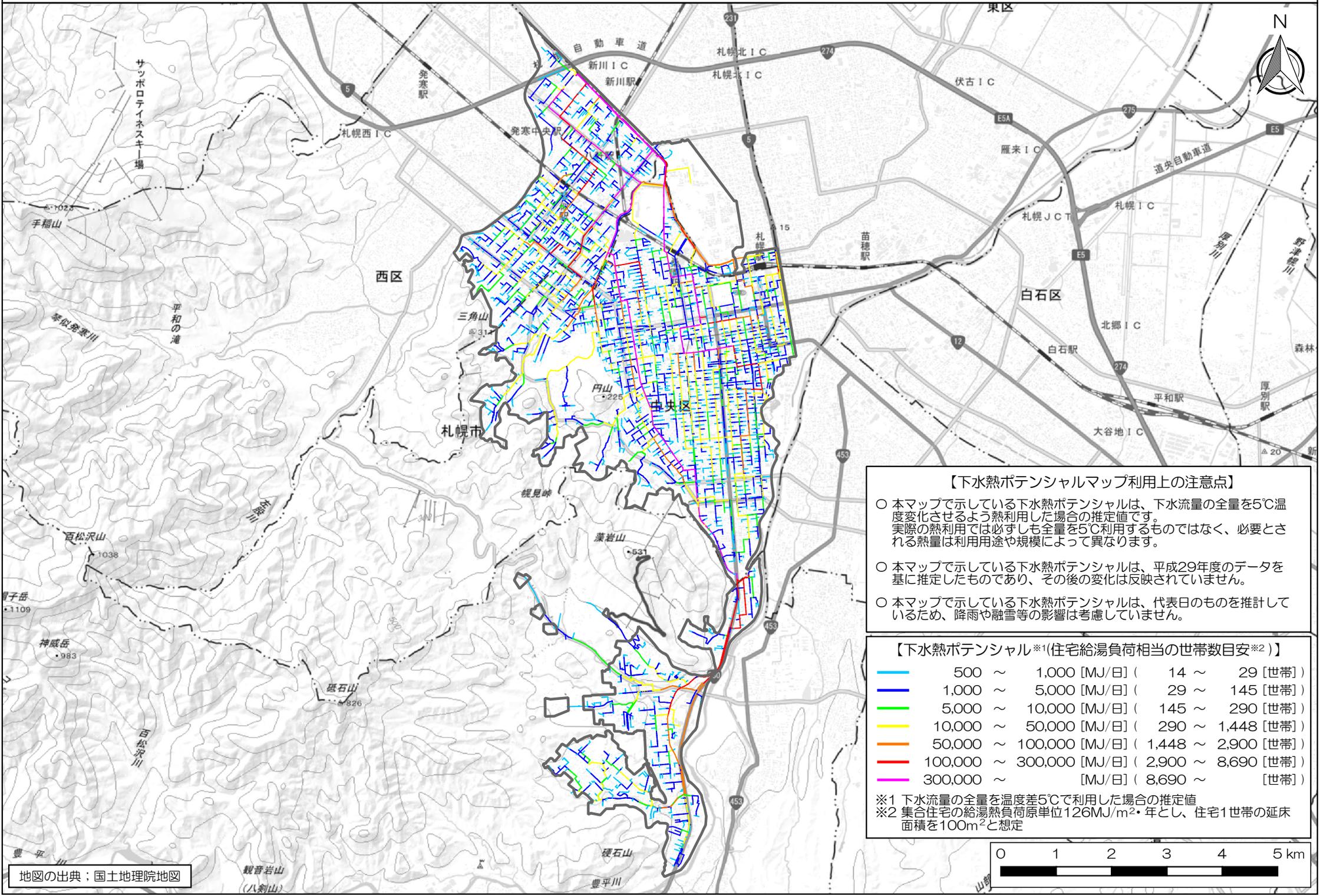


# 札幌市下水熱ポテンシャルマップ〔新川処理区；通年〕



### 【下水熱ポテンシャルマップ利用上の注意点】

- 本マップで示している下水熱ポテンシャルは、下水流量の全量を5℃温度変化させるよう熱利用した場合の推定値です。実際の熱利用では必ずしも全量を5℃利用するものではなく、必要とされる熱量は利用用途や規模によって異なります。
- 本マップで示している下水熱ポテンシャルは、平成29年度のデータを基に推定したものであり、その後の変化は反映されていません。
- 本マップで示している下水熱ポテンシャルは、代表日のものを推計しているため、降雨や融雪等の影響は考慮していません。

### 【下水熱ポテンシャル※1(住宅給湯負荷相当の世帯数目安※2)】

500 ~	1,000 [MJ/日]	( 14 ~	29 [世帯]
1,000 ~	5,000 [MJ/日]	( 29 ~	145 [世帯]
5,000 ~	10,000 [MJ/日]	( 145 ~	290 [世帯]
10,000 ~	50,000 [MJ/日]	( 290 ~	1,448 [世帯]
50,000 ~	100,000 [MJ/日]	( 1,448 ~	2,900 [世帯]
100,000 ~	300,000 [MJ/日]	( 2,900 ~	8,690 [世帯]
300,000 ~	[MJ/日]	( 8,690 ~	[世帯]

※1 下水流量の全量を温度差5℃で利用した場合の推定値  
 ※2 集合住宅の給湯熱負荷原単位126MJ/m<sup>2</sup>・年とし、住宅1世帯の延床面積を100m<sup>2</sup>と想定

